

常田のりこ 政策発表

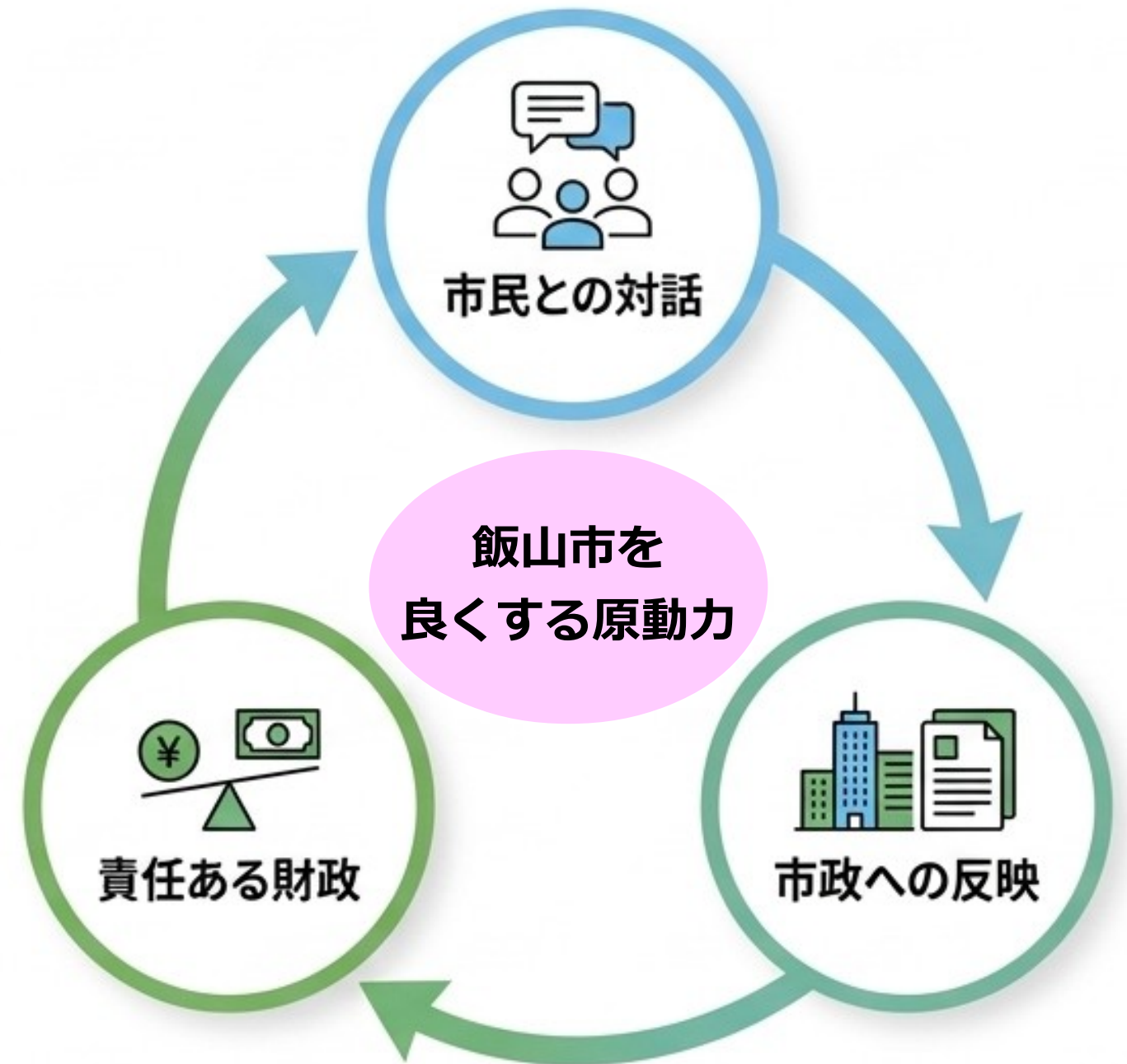
「みんな みんな幸せ」

誰もが住み続けたい、訪れたい飯山市へ

基本理念

みんなが幸せを実感できる飯山市へ。
住んでいる人も、訪れる人も、
子どもも若者も高齢者も、
障がいのある人もない人も、
誰もが安心して暮らし、
自分らしく輝けるまちをめざします。

実現する3つの約束



重点政策 1：子育て支援・教育の充実 — 「子育てするなら飯山市」へ



質と環境

- ・ 保育の質を最優先にした保育園の統合
- ・ 子どもの社会性を育てる城南中学校区の3小学校統合・学校づくり



食と居場所

- ・ 子どもたちの健康を考えて安全安心な地産の「有機（オーガニック）給食」の推進と「オーガニックビレッジ宣言」
- ・ 空き校舎等を活用した子どもの居場所づくりと、児童クラブ等への長期休暇の昼食支援。



負担軽減と両立

- ・ 給食の質を確保し小中学校の給食費の完全無償化をめざす
- ・ 医療的ケア児を北信地域全体で支える連携体制
- ・ 男性育休促進と、休む人をカバーする職員への支援

重点政策2：高齢者・障がい者支援



重点政策 3: 人口減少対策 — 若者のライフサイクルを支える



重点政策 4：地域経済の活性化

「ないものを求める」のではなく、
「飯山にあるもの」を磨き上げる

資源



- ・飯山の有機農業を育てる
- ・学校給食などと連携しもっと地産地消へ

価値化



- ・「稼げる農業」の応援

交流



- ・遊休農地を「人を呼ぶ農地」へ
- オーガニック市民農園
滞在型市民農園など

発信



- ・市民と外から来る人でつくる「飯山ブランド」
- ・インバウンドと市民生活の調和（多文化共生）

プラス: 未来に責任を持つ市政



ハード（インフラと環境）

- ・老朽化する水道・下水道施設の広域化を検討
- ・安全な道路・大関橋などの早期架け替え
- ・森林環境税を活用し、1歳6か月児健診で木のおもちゃを贈呈

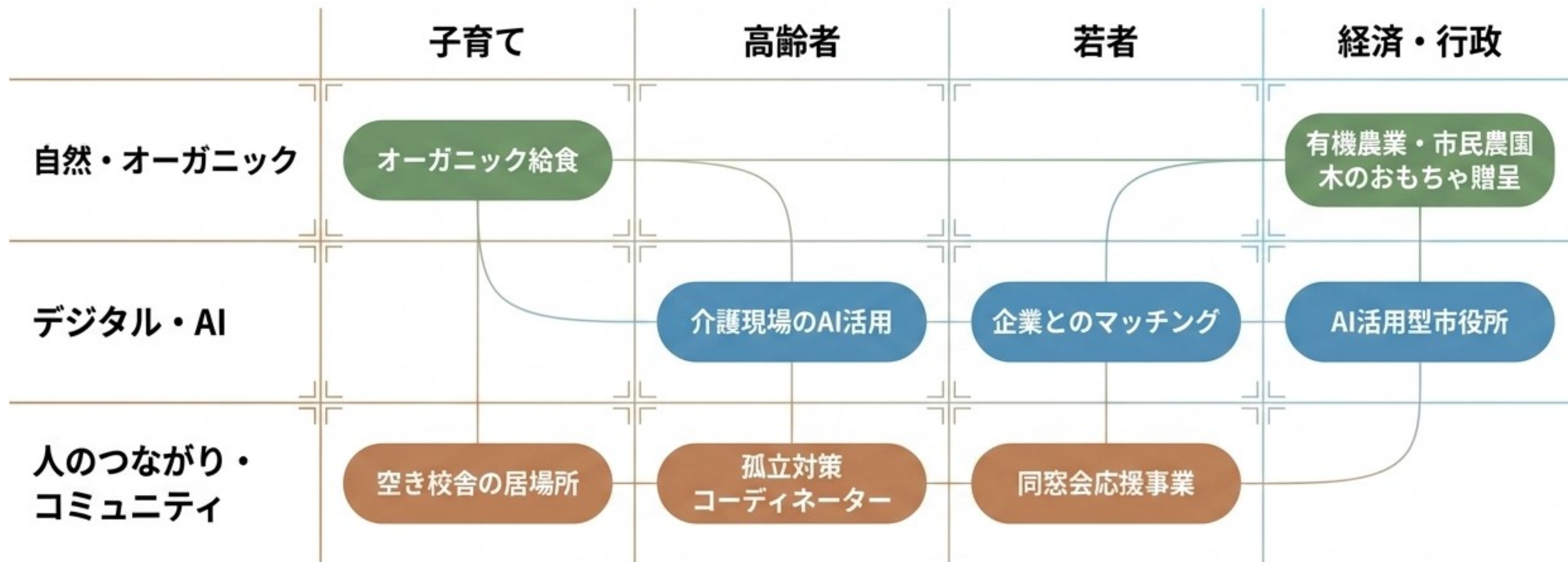


ソフト（行政と仕組み）

- ・デジタル技術・AIを活用し、職員が市民サービスに注力できる市役所へ
- ・ボランティア活動などに応じたポイント制度の導入
- ・既存事業の徹底検証（原則3年を目安に見直し）

飯山シナジー・マトリックス

すべての政策が連動し、相乗効果を生み出す設計図



分断された縦割り政策ではなく、一つの大きな「飯山の未来」をデザインします。